

1. 夢落ち

回る回る 回転木馬
白い馬は僕の席だよ
揺れる揺れる 波の上
乗りこなす度に
ヒーローだったのに
目が覚めた

踊る踊る 僕のころ
聞こえる両手を叩く音
騒ぐ騒ぐ 人の群れ
交われなくなって
泣いたら目覚める筈でしょ?

早起き 嫌い
棚引く雲に
雨の予感
朝は来なくていいよ
泣き疲れたのに
「おはよう」言えない
夢の中に居て
眠ったままで

歌う歌う 寒空の下
響き渡る真っ直ぐな声
固く固く 氷った気持ち
溶かしたのは
いつものあの子

追いかけて
どこまで来たの?
気がつけばいつかの箱の中
真っ白な世界を見つけたら
さあ 始めよう

戦慄き 暗い
部屋の片隅に
零れる雨
傘も持たず 行くよ
昨日の僕に
「さよなら」言いたい
あの山目指して
広がる メロディー

四つの葉を繋ごう
呼吸合わせ
しあわせな僕たちの歌

2. しらたき

私は脇役だから
スポットライト
浴びることはないの
旅立つ ともだち
みんなは幸せの中へ

それでもあなた
私を選んだ
なんの取り柄もない
こんな私を
優しく掬い上げた

「白くて透き通るような
君が好きだ、好きだ」

それでもあなた
私を探した
掻き分けて掻き分けて
やっと私を
見つけてくれた

「誰がなんと言おうと
僕は君が好きだ、好きだ」

この結ばれた白い糸を
誰も誰もほどかないで

3. 上原公園

痩せたいときも食べたいこと
つまんなくても生きてること
うまいかないや こんな夜は
君の声でもきいて寝ようかな

大人になった自分や君が
今の私を思い出して
口ずさんで 照れ臭くって
そういうのでいい

やりたいことがやれないこと
目覚し3つで起きれないこと
すごく好きなのに言えないこと
なんて不平等な世の中だ

そういうのがいい

ケータイと お財布と
相棒を連れて センセーション

大人になった自分や君が
こっちを見て笑っていても
それでいいや それもいいさ
もう少し行こう
子供のころの自分や君が
こっちを見て嘆かないように
白い世界の ど真ん中で
大声で歌おう

どうでもいいこと 思い出して
嫌になって 逃げたくなって
公園の 片隅で
センチメンタルセンセーション

好かれても疎まれても
もう少しこのままでいさせてよ
派手じゃないけど
覇気もないけど
平凡でいいよもう